

【校訓】
「自発」・「協同」
自発：自ら進んで
協同：心と力を合わせ助け合って

【教育目標】
「誇りを持ち、主体的に生きる子」
「郷土」「学校」「自分」に誇りを持ち、自ら課題を見つけ、調べ、考え、対話し、協働的にねばり強く解決をしていく子

【目指す学校像】
◎学ぶ喜びと居場所をつくり、一人一人を大切にする学校
◎職員がチームとして課題解決に向かう、効果のある学校
◎地域密着型教育を進め、保護者・地域に信頼される学校

【努力目標】

対話しながら学ぶ子
【R2 みんなとなかよく とともに高め合う子】

みんなのために活動する子
【R1 みんなとなかよく ねばり強く取り組む子】

あきらめずにチャレンジする子
【H30 前向きに ねばり強く取り組む子】

【努力目標実現のための施策】

- (1) 主体的に自分の考えを深める子の育成
 - ① 学年に応じた対話スキルを身に付ける場の設定
 - ② 問題解決型学習とプロジェクト学習で探究力の育成
 - ③ 校内研修の充実(研究の日常化)
- (2) 特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり
 - ① 個に応じた適切な配慮・支援・周囲との関係改善
 - ② 「目的意識」を高め「学び方の選択」のある授業
 - ③ ICTの活用と学習環境の整備
- (3) 体験的な学習と家庭・地域との連携強化
 - ① 地域素材を使った学習と地域人材の活用
 - ② 家庭学習・家庭読書の習慣形成
 - ③ 言語活動の充実と図書館・新聞活用の推進

- (1) よい伝統の継承(基本的生活習慣・安全指導)
 - ① 登下校の歩き方・横断歩道の渡り方指導(命最優先)
 - ② 目を合わせて笑顔であいさつ
 - ③ 公共の場での正しい言葉遣いの指導
- (2) よりよい人間関係づくり(居場所・役割・絆づくり)
 - ① キャリアパスポートの継続的活用
 - ② 話し合い活動となかよし班活動の充実
 - ③ アセスの理解とSST/SGE/GWT等の活用
- (3) 体験と関連付けた道徳教育の推進
 - ① 規範意識と人権意識を高めていじめ・問題行動未然防止
 - ② 道徳ノートの充実と活用
 - ③ ボランティア活動の奨励と地域社会貢献

- (1) 自ら進んで体力づくりに取り組む
 - ① 基礎体力の向上をめざした業間運動の実施
 - ② 運動意欲増進のための外遊びの奨励
 - ③ 体力テストや各種大会の記録と評価の工夫
- (2) 保健・安全及び食に関する指導の充実
 - ① 学校保健委員会と健康課題への年間を通じた取組
 - ② 「立腰」「早ね・早起き・朝ごはん」習慣の定着
 - ③ 食育と衛生指導の充実
- (3) 清掃活動の推進
 - ① 静かに安全に黙働清掃
 - ② 縦割り班で協働する態度の育成
 - ③ 家庭でのお手伝いの奨励

【重点評価事項】

- <対話しながら考えを深める子>**
- ◇ 話す 相手の話を受けて話したり質問したりする。
話をつなぐ言葉を使って話す。
「それに」「でも」「やっぱり」「だって」「つまり」
「たとえば」「どうして」「なぜ」など
 - ◇ 聞く 低：大事なことを落とさずに聞く。
中：自分の考えと比べながら聞く。
高：相手の考えのよさを認めながら聞く。
⇒学期末に校内研修評価アンケートを実施、分析と指導

- <よりよい人間関係づくりとキャリア形成>**
- ◇ 目を合わせて笑顔であいさつ
⇒JS あいさつ運動への取組の指導と評価
 - ◇ 公共の場ではていねい語で話す
「～です。」「～ます。」「さん・くん」
⇒7月と11月の学校評価アンケート分析と指導
 - ◇ キャリアパスポートの振り返り
⇒学期末に回収、取組状況の評価

- <けがをしない身体づくりと健康意識の高揚>**
- ◇ 新体力テスト(50メートル走・ソフトボール投げ)のデータ比較と対策づくり
⇒6月と10月の新体力テストの指導と評価
 - ◇ 生活習慣ふりかえりアンケート
⇒毎月2回実施、分析と個別相談
 - ◇ 黙働清掃
⇒新清掃(黙働)週間の取組の指導と評価

【週時程の工夫】
朝の活動：ことばの時間・全校朝会(火曜日)
水曜日の昼の活動：ふれあいタイム(縦割り班や奉仕活動)
月曜日の業間…自由遊び・業間のマラソン(火曜日～金曜日)
冬季業間…バーピー運動(週4回)・なわとび運動(週1回)

【令和2年度学校目標】
みんなとなかよく とともに高め合う子

【全校で取り組む生活科・総合的な学習「はちっ子タイム」
「歴史ある八戸に生きる私たち」
1年：あそびにいこうよ 2年：町のすてき大発見
3年：八戸三社大祭とえんぶり 4年：八戸の町中探検
5年：俳句 八戸の郷土料理 6年：八戸の歴史と菊作り